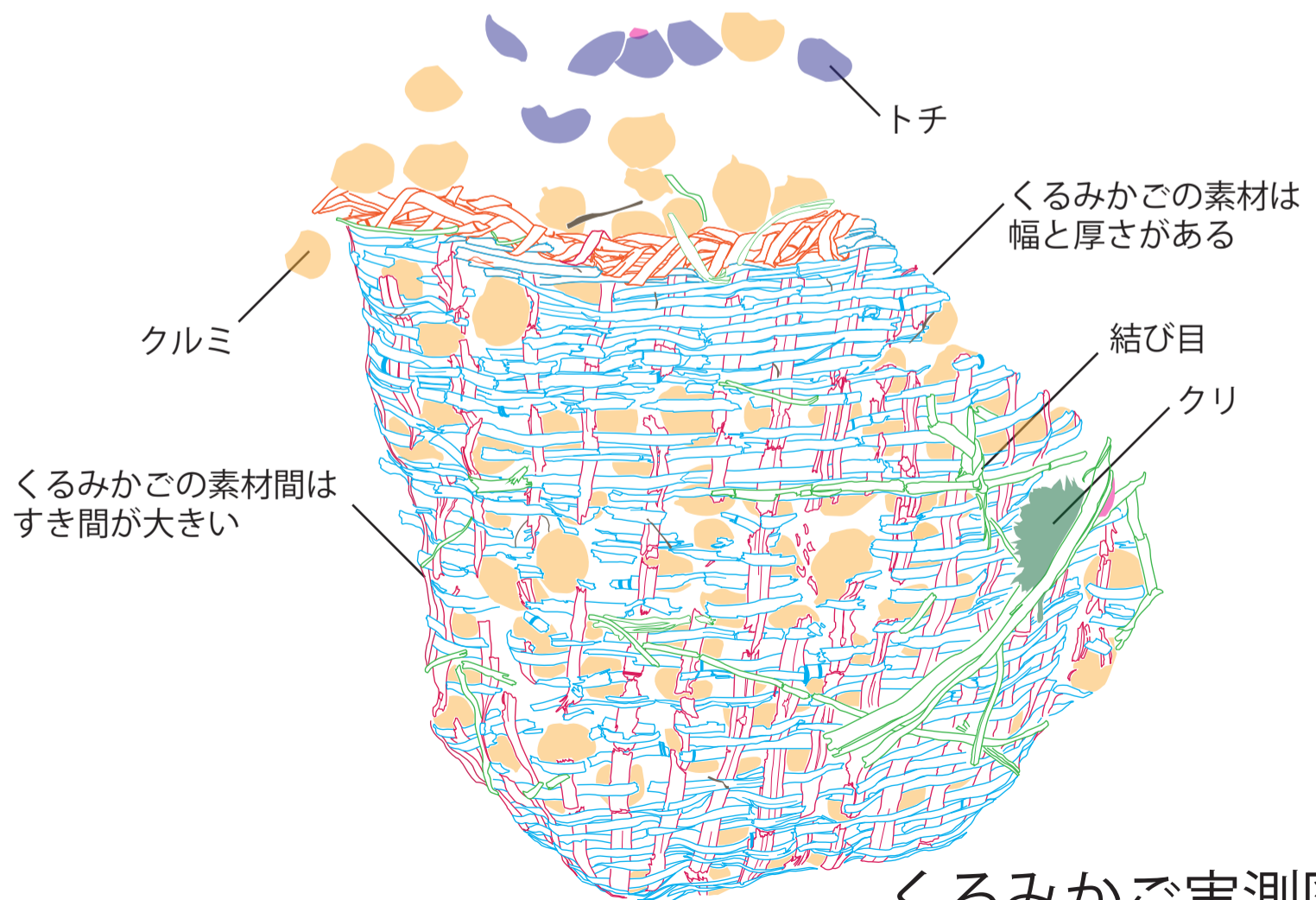


## 「くるみかご」にはどんな特徴があるのでしょうか

くるみかごをこまかく観察すると、他のかご、ざると違う特徴があります。まず素材は、他のものより、厚い、幅広ということがわかりました。くるみを入れて持ち運んだり、たくわえておくためには、強度があることが求められたのでしょう。

そして、そのつくりにも違いが見えます。他のかご・ざるより、くるみかごは素材間に幅があるのが特徴です。小さいドングリでは、すき間から落ちてしまいます。

くるみ専用のかご。その用途にあわせて、縄文人はさまざまな工夫をしていたようです。

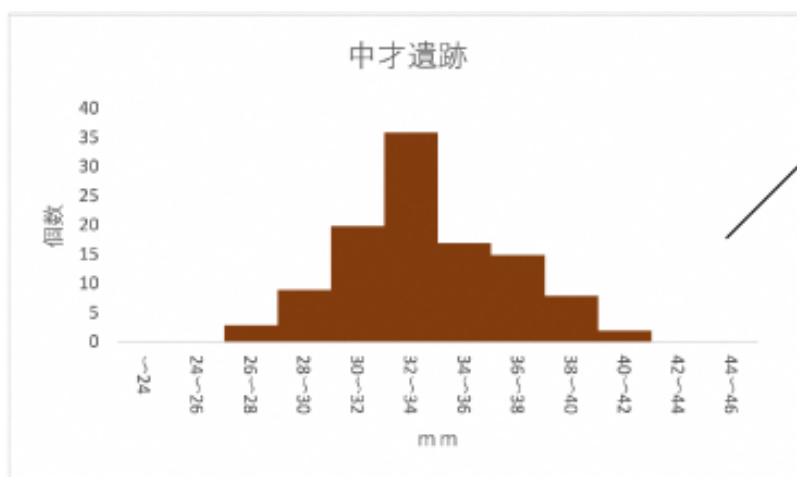


くるみかご実測図

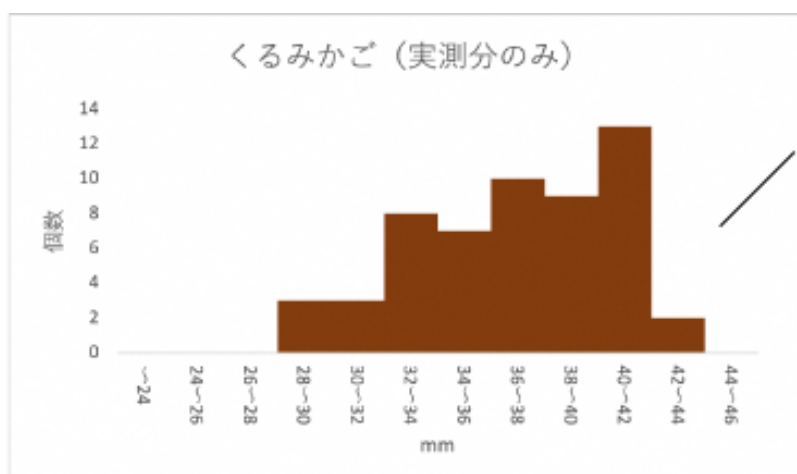
## 「くるみかご」は贈り物？

くるみかごの中のくるみと中才遺跡の穴の中から出土したくるみと長さ（タテ幅）を測って比べてみました。すると、中才遺跡より、くるみかごのくるみが大きいことがわかりました。

このことから、くるみかごには、単純にひろったものを詰めたのではなく、特別に大きいものを選んで、詰めていたと考えられます。くるみかごは、もしかしたら贈り物だったのかもしれませんが、でも、なぜ、穴の中に置いてあったのでしょうか？もしかしたら忘れ物であったのかもしれませんが。



中才遺跡は、真ん中が一番多い。  
くるみかごに比べ小さい。  
自然な状態を示している。



くるみかごは、真ん中が一番多くならない。  
中才遺跡に比べ大きい。  
人が選んでいたことを示している。